

令和8年度 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立錦西小学校
校長 佐藤 憲治

中学校区におけるめざす子ども像
・自分のよさを知り、人とつながり協働する子 ・将来にゆめや希望を持ち、その実現に向けて粘り強く努力する子

令和8年度 重点目標

学校教育目標である「心身ともに健康で、地域を愛し、共に喜び合い、自己実現をめざす児童の育成」を具現化するために、「確かな学び」「豊かな心」「健やかな体」「地域協働(学校マネジメント力)」の各項目の具体目標に各委員会等が中心となって組織的に取り組む。
その取り組みにより、子ども一人ひとりが輝き、教職員それぞれの力が発揮できる、子どもと教職員が共に学びを楽しみながら、成長し続ける学校を目指す。

「確かな学び」の現状 ・学習の基礎基本の定着が図れるよう、前年度までに継続して全学年で朝学に取り組んだことにより、学力に個人差は見られるものの、落ち着いた学習に取り組むことができている。 ・学びを支える日常的ツールとして、ICTを授業の中で活用することができている。 ・前年度までに継続して「ノートグランプリ」や「自学ノートの活用」などに取り組んだことにより、児童自らが学ぼうとする意欲を高めながら、知の蓄積を行うことができている。	「豊かな心・健やかな体」の現状 【豊かな心】 ・相手の気持ちやその場の状況を考え、自分の思い、考えをもって行動する道徳的判断力は身に付いてきている。 ・異学年交流やあいさつ(「さよなら運動」)により、学年(横)のつながりだけでなく、異学年(縦)でのつながりも強くなってきている。 【健やかな体】 ・令和7年度の新体力テストの結果において、総合力の高い児童と低い児童の二極化傾向が前年度と同様に続いている。 ・また、令和7年度の新体力テストにおいて、男子児童の柔軟性、持久力が全学年ともに全国平均値より低い。 ・体育科の授業の充実を図り、体力、運動能力を高める必要がある。 ・熱中症指数の高い日が長期化するなどの外部環境の変化より、運動量の確保が難しい時期が増えてきている。
--	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	基礎基本の定着	自ら学習を進めるための基礎・基本の学力を養う。	学力の基礎基本を養うために、漢字や計算練習などに取り組む。 ノートグランプリや自学ノート、ICT機器のデータの蓄積などで、児童自らの学びを形として残していくことに取り組む。	単元のまとめや朝学などで漢字や計算の反復練習を行うことができているか。 各クラスでノートグランプリ掲示。個人フォルダにICTデータを蓄積し、振り返ることができているか。	実施報告	11月 1月～2月			
	授業改善	自ら学び、他者とつながることができる授業を実践する。	●★学びを支える日常的なツールとして、ICTを授業で活用する。 校内研修や公開授業を通じて、実践報告の蓄積と授業手法の共有化および改善を図る。	研究ミーティングごとに実践の蓄積と振り返りを行う。 校内全体でICT機器を活用した実践例を80例以上挙げる。	実施報告	11月 1月～2月			
	豊かな心の育成	一人一人の良さを理解し、互いに認め合い、共に高め合える心豊かな児童を育成する。 児童が心穏やかに、安心して学校生活を送れるような学校風土を築く。	道徳をはじめ、あらゆる教育の場で、子どもの自己肯定感や自尊感情を醸成する。 特別な教育的ニーズのある児童の把握と共通理解をし、子どもの特性に応じた指導・支援を行う。また、それらの取組により、他者を理解することのできる児童を育成する。 ●適時に「生活アンケート」を実施し、その結果を適切に活用することにより、いじめの未然防止、早期発見などに組織的に取り組む。	あいさつ、生活目標の徹底などの取組や児童の縦(異学年交流)、横の繋がりを深くする交流機会が全学年できているか。 ニーズの把握、特性に応じた指導・支援、児童の育成に組織的に取組めたか。 「生活アンケート」を年3回実施し、毎月の職員会議、委員会でアンケート結果を活用する。	実施報告 実施状況	11月 1月～2月 11月 1月～2月			
健やかな体	健やかな体の育成	保健・安全指導の充実や運動に親しむ機会、環境を整えることにより、身体を守る意識と運動能力の向上を図る。	体育科授業、体育的行事などの充実を図り、年間を通じた体力づくりを行い、十分な運動量を確保する。 ●保健教育や安全指導などを通じて、自らの体や命を守ろうとする児童を育成する。	取組の目的に沿って全学年で取り組んでいたか。 自分の体や命を守る意識を高める保健指導や訓練を実施できたか。	実施状況 実施報告	11月 1月～2月 11月 1月～2月			
地域協働	信頼される学校	学校・家庭・地域が連携・協働する教育を推進し、その成果などを積極的に発信する。	●学校ホームページ、校報、テトルなどを活用して学校の教育活動とその成果を積極的に公開・発信する。 ●地域、社会などと連携・協働した外部のプログラムや教育資源を活用した教育活動を行う。	学校ホームページやテトルなどにより適時に情報発信、更新ができたか。 全学年で外部のプログラムや教育資源を活用した教育活動ができたか。	実施報告 実践報告	1月～2月 1月～2月			

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------